

遠隔作業・保守支援システム

—標準技術活用による生産支援に関する研究—

●背景

- ・ 熟練者不足により、品質・効率低下、作業ミスなどが課題
- ・ 海外などの熟練作業員不在の現場では、この課題は深刻で、遠隔作業・保守支援技術が必要
- ・ しかし、従来の遠隔支援技術は、機器メーカー固有の保守用であり、異メーカー機器混在のユーザには対応できない

●目的

- ・ 標準技術活用により、異メーカー機器に対応し、機器情報やドキュメントの共有と、マルチメディア会話による遠隔作業・保守支援システムを提案

●研究概要

- ・ 標準技術活用により、異メーカー機器に対応し、機器情報やドキュメントの共有と、マルチメディア会話による遠隔作業・保守支援システムを提案



- 現場に合った操作性を有し、高通信性能、導入の容易性を重視した拠点間マルチメディア会話機能
- 3-Dモデルやデジカメ撮影した設備写真とドキュメントとの連携により、手軽に利用可能な遠隔作業・保守支援アプリケーション

●研究成果

- ・ 提案手法の検証により、約 24%以上の作業時間短縮効果を予測
- ・ 製造業向けコラボレーションシステムを試作 (平成 20 年度)
- ・ 製造業向けコラボレーションシステムの製品化を検討中



本システムは一般財団法人 機械振興協会 技術研究所が、

競輪の補助により実施した研究成果の一部です。

お問い合わせ先： 企画管理室 (担当：木村利明)
 TEL：042-475-1155 FAX：042-474-1980
kimura@tri.jspmi.or.jp

